

## ぎふハチドリ基金 応援団交流会～会って、話して、つながろう～ 「子どもの居場所はここにある！」 開催報告

開催日:2023年12月3日(日) 14:00~16:30 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

内容:①「ばっちゃん～子どもたちが立ち直る居場所～」視聴

②ゲスト団体の活動紹介

一般社団法人まちのごえん、一般社団法人よだか総合研究所、地域たすけあいの会、横屋のえんがわプロジェクト、ひとり親ピアサポート団体「ひとり親Cheers」、NPO法人こぎつねくんわーど

③グループ交流 (5グループ 合計35名)

「ばっちゃん～子どもたちが立ち直る居場所～」について

2017年にNHKで放送された、広島で、寂しさを抱えた子どもたちの拠り所となっている中本さんのドキュメンタリー。中本さんが話される一言一言に、優しさと愛情が溢れ、とても感動しました。

中本さんがビデオの中で語っておられたことが、2022年の中国新聞に掲載されていたので紹介します。

「元保護司の中本忠子(ちかこ)さん(88歳)は、40年以上自宅で居場所がない子どもたちに手料理を振る舞い、非行から立ち直るきっかけをつくってきた。「ばっちゃん」と慕われ、今も子どもたちに温かいまなざしを注いでいる。孤独、空腹、環境。非行と再犯を防ぐには、この三つを立て直すことが大切だと信じてやってきた。

『子どもが悪さをする根底には、親に構ってもらえんというのがある。まずは黙って話を聞き、こっちからは何も質問しない。補導されて警察にさんざん聞かれているような子には特にね。慣れてくると自分の方からいろんなことを話してくるものです。子どもたちの様子をよく見て、SOSに気づく目を持ち続けたい。おせっかいと思われてもいい。私ら大人が見てみんふりは一番いけんと思うよ。』

中本さんは、現在でも、「NPO法人食べて語ろう会」の代表として活動を続けておられます。



グループ交流では、岐阜県内で子ども食堂や居場所の運営をしている団体の方も入り、自己紹介を交え、視聴したビデオの感想、活動に対する質問や活動上の課題について、活発に話し合いました。

・居場所を運営している人からのお話

「子どもだけを居場所に行かせている親ってどうなの?」と、言われたことがあったが、コロナ禍、地域の子もたちは孤独だった。地域でつながる場所がない、触れあう機会がなかった。自分が子どもの頃、親が忙しくて、近所のおばさんに支えられていた。だから、かつて自分がしてもらったように、子どもたちの居場所を作ろうと思った。ほかの地域でも、どんどん始めてほしい。

・活動上の課題としては、担い手が少ない。手伝ってくれる人はいるが、「ばっちゃん」のように、旗を振る人がいない。届けたい人に届いていない・・・など、様々な意見がでました。

・初参加で、コミュニティカフェを運営してる人からは、「子ども食堂をやっている人の話が聞け、交流でき、これからのイメージが浮かんでとてもわくわくした。参加してよかった。」という感想をいただきました。



応援団交流会は、ひとりでも多くの方に、ぎふハチドリ基金を知っていただき、ハチドリ応援団の仲間が増えることを願って開催しています。今回の開催後に応援団の継続や新規に入会いただいた人がいました。

参加いただいた皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



新年の団らんの最中に発生した能登半島地震。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。甚大な被害状況の報道の一方で、避難所での助け合いや、困難に立ち向かう人達、全国から集まる支援に、人の力の凄さを感じています。

ぎふハチドリ基金には、毎年、多くの寄付や応援団会費をいただいています。その1件、1件にたくさんの方の温かい思いがあり、そして、その思いが、活動団体を通じて、地域の子どもや若者、子育て家庭に届けられていることに改めて感謝いたします。

能登半島の日も早い復興を願いつつ、私達も地域のつながりを大切にしていきたいです。

## ぎふハチドリ基金への寄付付き自販機が増えました。

羽島市の岐阜羽島ボランティア協会に、地域交流の場所「こどもの駅はしま」(羽島市正木町坂丸)がオープンし、「ぎふハチドリ基金」の寄付付き自販機を設置していただきました。親子で利用できる「おもちゃ図書館」や駄菓子屋もあり、イベント時には、敷地内でミニSLが走ります。お近くの方は、ぜひお越しください。

### ◎現在の寄付付き自販機設置場所

(公共の場および誰でも購入可能な場所に設置)

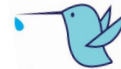
- ・美濃市健康文化交流センター(美濃市常盤町2423-1)
- ・めぐみの農業協同組合(JAめぐみの)美濃支店(美濃市中央8-71)
- ・小牧木材株式会社(岐阜市西改田若宮)
- ・こどもの駅はしま(羽島市正木町坂丸1-14-1)

(従業員、来客用に設置)

- ・積水ハウス建設中部株式会社 三岐店 岐阜オフィス(瑞穂市野白新田)
- ・株式会社エアー岐阜(岐阜市木ノ下町)
- ・有限会社加藤サービス(瑞穂市野白新田)



寄付付き自販機や、募金箱の設置についてのご相談、お待ちしております



## <個人の寄付金控除について>

### ぎふハチドリ基金への寄付と応援団会費は、寄付金控除の対象です！

☆認定NPO法人や公益法人等への2,000円以上の寄付金や賛助会費は、寄付金控除が受けられます！

年末調整をされた方も、確定申告で、さらに税金が戻ってくる可能性があります。

☆2023年1月～12月に、ぎふハチドリ基金に寄付金や応援団会費をいただいた皆様、令和5年(2023年)分の確定申告に、ぎふハチドリ基金の「寄附金受領証明書」をお使いください。(他の認定NPO法人や公益法人等への寄付金と合算できます)。

(ポイント) ○認定NPO法人や公益法人等に寄付したお金の最大約50%が戻ってきます。

○所得税は必ず減税。住民税は減税になる場合があります。

○確定申告(還付申告)が必要です。

【所得税減税額の計算式】 税額控除か所得控除のどちらか有利な方を選択できます。

税額控除の場合 (年間の寄付金合計額-2,000円) × 40% = 減税額(所得税額)(所得税の25%が上限)

所得控除の場合 (年間の寄付金合計額-2,000円) × 所得税率 = 減税額(所得税分)

\* 年間寄付金合計額は、年間の総所得金額等の40%が限度

【個人住民税減税額の計算式】

年間寄付金合計額-2,000円) × 最大10% = 減税額

\* 年間寄付金合計額は、年間の総所得金額の30%が限度

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。 <https://www.nta.go.jp/>

令和5年(2023年)分の確定申告の期間は、2024年2月16日～3月15日です。